

大妻嵐山中学校高等学校保護者会は、学祖・大妻コタカ先生の志を受け継ぎ、建学の精神「廉恥報恩」と校訓「恥を知れ」を胸に、学校と家庭を結ぶ架け橋として活動しています。

保護者会は、総務委員会、行事支援委員会、学生支援委員会、学年委員会で構成され、各委員会が連携しながら学校行事や学びの環境づくりを支えます。

文化祭や体育祭、説明会などでは受付・誘導・運営補助を担い、円滑な進行に寄与しています。日常の活動としては、必要な情報の共有や学校への協力、保護者同士のつながりを深める取り組みを通じて、生徒の安心と成長を見守ります。

また「おやじの会」とも協力し、行事の設営や安全面のサポートなどで力を合わせ、礼節と感謝を大切にする本校の教育方針に寄り添いながら、生徒が伸びやかに挑戦できる環境を皆で整えています。



校舎外観



点灯式の様子



大盛況の大妻祭



模擬店の様子



親と子で学ぶ講演会

埼玉私学保連とは【埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会】

私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、埼玉県内の私立小学校・中学校・高等学校より出向している保護者会の現役役員を中心とする組織として平成19年2月18日に誕生しました。21世紀を担う青少年の健全育成や児童・生徒の安全・防災・防犯問題等についても、私立学校の充実・発展に寄与していくことを目指しています。

埼玉私学保連ニュース発行担当：広報部会
部会長 上田雄彦
部会員 遠藤薫、渡邊隆浩、兵頭洋子、佐滝孝至



<https://saitamashigaku.com/publics/index/19/>

リンクより埼玉私学保連ニュースのバックナンバーがご覧いただけます。

発行/埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会 (略称: 埼玉私学保連)

所在地/さいたま市浦和区高砂4-13-20埼玉私学会館内 TEL.048-866-4478 FAX.048-866-4479

令和7年度 埼玉県私学振興大会開催

埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会 振興大会実行委員長/副会長 秋本 高幸



令和7年11月27日(水)、さいたま市文化センター大ホールにて埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会及び一般社団法人埼玉県私学協会の共催にて令和7年度埼玉県私学振興大会が開催されました。

今年度は約1,800名の保護者の方々にご参加いただき、埼玉県私学振興大会会長の青木徹先生(私学協会会長)と大会副会長の関口健一私学保連会長の主催者挨拶に始まり、私学振興大会開催に際し山崎達也埼玉県副知事にご挨拶を頂き、ご来賓として白土幸仁埼玉県議会議長、田村琢実埼玉県議会議員・自由民主党私学振興懇話会幹事長をはじめ多数の埼玉県議会議員の皆様にご臨席賜り盛大に開催されました。

大会決議として、現在私立学校は大変厳しい状況にあり、民間企業の賃上げが進み公立学校でも給与改善が進んでおり私立学校も教員給与改善を図らねば教員を確保できない状況にあること、物価の高騰やICTなど社会情勢の変化への継続的な対応の必要性、授業料補助については全国トップレベルである一方で運営費補助金については国の措置額を大きく下回っている現状を鑑み、

- 1 私立学校に対する運営費補助の生徒等一人当たりの額を大幅に引き上げ、少なくとも公立学校と同程度の給与改善が可能となるよう、財源の確保を図ること。
- 2 ICTなど社会の変化に対応した新たな環境の整備や物価高騰対策などに対する助成について、十分な予算的措置を講ずること。
- 3 私立高等学校の施設費等納付金や入学金に対する父母負担軽減補助制度のさらなる充実を図ること。

を採択し、山崎副知事、白土県議会議長に大会決議分を手交し、令和7年度埼玉県私学振興大会を無事閉会致しました。



令和7年度埼玉私学保連の活動報告

日私学保連私学振興全国大会

令和7年11月5日（水） | 会場：文京シビックホール 広報部 佐滝 孝至

令和7年11月5日、東京・文京シビックホールにおいて、令和7年度日私学保連私学振興全国大会が開催されました。日本私立中学高等学校連合会と日本私立中学校高等学校保護者会連合会が主催する本大会には、全国から約1,700名の私学関係者や保護者が参集しました。特に今年は、令和8年度から始まる「高校授業料無償化」に向け、所得制限の撤廃や上限額引き上げが政党間で合意された直後ということもあり、例年以上の熱気と期待感に包まれた大会となりました。

主催者挨拶では、吉田晋会長が私学教育の果たす役割の大きさを改めて示し、無償化を安定的に支える恒久的な財源確保の必要性を力強く訴えました。続いて登壇した来賓の国会議員の方々からも、私学助成の充実や教育費負担の軽減に向けて全力で取り組むとの力強い言葉が続き、会場には大きな拍手が広がりました。

大会の終盤では、居住地によって支援額に差が生じている現状を踏まえ、その是正を求める「保護者の願い」が読み上げられました。一人の保護者としてその場に立ち会い、公私間の格差なく、子どもたちが「建学の精神」に基づいた多様な教育を自由に選択できる未来が確実に近づいていることを実感し、胸が熱くなる思いでした。

最後に、経常費補助の拡充や高校無償化の確実な実施を求める大会決議が採択され、私学振興への思いを新たにす貴重な機会となりました。



日私学保連青少年育成研修会

令和7年11月21日（金） | 会場：聞法会館 副会長 上田 雄彦



令和7年11月21日、京都市の聞法会館・西本願寺において、日本私立中学校高等学校保護者会連合会主催の令和7年度青少年育成研修会が開催されました。埼玉私学保連からは、関口会長、高野副会長、上田の3名が出席いたしました。会場には、日私学保連の鹿濱徳雄会長、開催県である京都府私学保連の寺田崇雄会長をはじめ、各都道府県の私学保連会長および役員の方々総勢約180名が一堂に会し、盛大に執り行われました。

研修第1部では、京都先端科学大学附属中学・高等学校の佐々井宏平校長による「京都発・世界人材の育成～経験は人生の宝～」と題した講演が行われました。佐々井校長は、ご自身の教員生活を振り返り、世界のどこに立っても自らの意志で堂々と行動できる人を育てたいという強い信念の元、生徒たちが挑戦と経験を重ねながら成長していく姿を紹介されました。教育への情熱がまっすぐに伝わり、「経験が人をつくる」という言葉の重みを深く感じる事ができました。

続く第2部では、西本願寺の拝観が行われました。西本願寺で修行中の僧侶の方の講話に耳を傾けた後、普段は一般公開されていない建築物や国宝、重要文化財を間近に見学するという貴重な体験をさせていただきました。古都京都の歴史と文化に触れ、心が洗われるようなひとときでした。参加者からは「来てよかった」という声が多く聞かれました。

研修後には、からすま京都ホテルで懇親会が開かれ、本場京都の舞妓さんによる優雅な舞が披露されました。全国の役員との交流も深まり、各地域の特色、取り組みや課題、そして私学振興への思いを直接聞くことができました。地域により環境や状況は違っても目指すところは一緒なんだと再認識した、大変有意義な時間となりました。

埼玉県私学振興大会 反省会

令和7年12月14日（日） | 会場：ホテル プリランテ武蔵野 広報部 兵頭 洋子

令和7年12月14日、ホテル プリランテ武蔵野5階「フリージア」において、令和7年度埼玉県私学振興大会反省会が行われました。大会副会長の関口会長より挨拶があり、今回の私学振興大会が大盛況に終わり、手応えを感じる大会になったというお言葉をいただきました。その後、各専門委員会毎に当日の良かった点や改善点について話し合っており、全体で発表しました。当日大きな問題はなく、円滑に運営が出来たという意見が多かったですが、令和8年度に向けてより細やかな部分まで改善出来る点を話し合いました。令和8年度の私学振興大会をより良い大会にしようという士気が高まり、反省会は終了しました。



埼玉私学保連 研修会・新春懇談会

令和8年2月1日（日） | 会場：ホテル プリランテ武蔵野 副会長 鈴木 聡

令和8年2月1日、ホテル プリランテ武蔵野「サファイアホール」にて、令和7年度埼玉私学保連研修会および新春懇談会を開催いたしました。研修会では、前半は子ども家庭庁 支援局 虐待防止対策課から草場先生をお招きして「ヤングケアラー支援の現況」と題してご講演頂きました。近年、特に顕在化してきたヤングケアラーの問題について、実際の事例も用いて分かりやすく解説して下さい、どのようなケースが有るのか、何が問題なのか、なぜ支援が必要なのかを熱弁していただきました。中でも、中学生の17人に1人の割合でヤングケアラーに該当する子どもがいるという数の多さに参加者の中から驚きの声が多数聞こえてきました。講演を通して、すべての子どもが子どもらしく生活できるようにしたい、という草場先生の想いが参加者にも伝わった、とても意義のある時間となりました。

後半は、獨協埼玉中学高等学校PTA、星野高等学校父母と教師の会の皆さまによる活動発表を行いました。両校共に素晴らしい発表で、各校の特色の違いや学校への思い・歴史を知ることができて有意義な時間になりました。その後、新春懇談会が行われました。各学校の自己紹介を行う時間もあり、学校同士の交流を深めることが出来ました。

